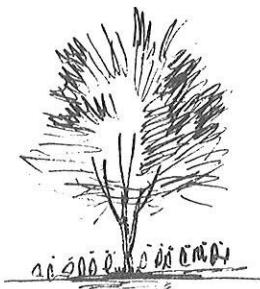


# 光の子



No.154 2012.9.20

●年間聖句 人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。

(ルカによる福音書19章10節)



「すいぞくかん」

挿絵・中島由起子

「夏館」

青空に触れて噴水折れにけり

宿下駄の音不揃ひに蛻

蛻火にいづれの道も濡れてをり

夏風邪やひつきりなしに街の音

天草とウエットスーツ並べ干す

沖の雲ぼぐれほぐれて休暇明け

出迎へは風邪と木漏れ日夏館

俳人  
黛  
まどか

光の子どもの家に初めて子どもたちがやってきたのは、二十八年前の夏でした。七月十日にやつてきた五歳、三歳、二歳の三人です。その初めての出会いに始まり今まで百七名の入所があり、大事な月日をお預かりし、たくさん時間とともに積み重ねてまいりました。現員は定員いっぱいの三十六人であり、それ以外は卒園生というになります。父となり母となり新しい家族ができたりもありますが、区切りのない関係の継続で小さな家族だった光の子どもの家が大家族、大所帯になり、親戚があちこちに増え続けるようです。

光の子どもの家の夏休みは定員いっぱいの三十六人であり、それ以外は卒園生というになります。父となり母となり新しい家族ができたりもありますが、区切りのない関係の継続で小さな家族だった光の子どもの家が大家族、大所帯になり、親戚があちこちに増え続けるようです。

## 長生きすることは辛いこと

介護老人保健施設みゆきの丘施設長

仙道 富士郎

この四月から山形県上山市にある老健施設に勤務している。医師免許証は取得しているといつても、基礎医学畠を歩いてきたので、老人の病気と付き合うのはかなり荷が重い。幸いにも敷地内に老健施設と同一法人の病院があり、そこには山形大学の教子がたくさん勤務しているので、力強いこと限りなしである。

NHK BSテレビ

ビで午前七時三〇分から始まる連続ドラマ「梅ちゃん先生」を見終わると、車を運転して、八時一〇分ころには職場に到着する。八時二〇分からは、幹部職員の朝のミーティングがあり、その司会をする。通常は夕方五時までは施設内で勤務している。

こんな規則正しい生活を毎日送っているのは、考えてみると、高校以来である。大学生のとき、

医学部の専門課程に移つてからは、毎日八時四〇分から講義があつたのだが、一講時目はよくサボつていたし、医学部を卒業してからは、基礎医学講座に所属していたから、出勤はおおよそ一〇時ころだつた。目新しいことは他にもある。この施設の職員の挨拶がまことによろしい。朝の挨拶はもちろんだが、ほとんどの人たちがする。こんな気持の良い職場は初めてである。病院に勤務している教子の一人に聞いてみると、二十四年前に病院の設立にかかわった人たちのスピリットだと言うが、それにしても二十四年間もそれが職員の間に伝え継がれてきたという事実は驚異的というほかない。「接遇委員会」とか「互助会委員会」など、いわゆるお偉いさんが参加しない委員会がたくさんあって、そうした委員会で多くの大事なことが決められている模様であり、そうしたbottom upの運営が、気持ちの良い施設を支えているのだろうと私自身は思っている。

こんな職場環境でなに不自由なく日々を過ごしているが、いわゆる介護の現場を体験して考えさせ

た一年生、真っ赤なもぎたてのトマトをひとつもつけてくれたにこにこの顔、園庭にだしたブルーは数人で満杯ですがそこでケンカにならぬルールを目々黒くなりながら身につけているようです。生い茂る豊かな緑にかこまれて、ときおり風が吹き抜ける時あわただしい日常がのんびりした空気に変わり、ついでに私たちの報告が重なったことはうれしい成績です。

いつも学校にとられている子どもたちのゴールデンタイムが私たちのところにもどつてくるということでの前傾姿勢で迎えるのがこの家の夏休みです。家族の色が濃くなるお盆期間など帰れる子どもは、いるかないいかというくらいほんのわずかになりました。その分、海や山の生活を思いつきり楽しむ計画をたて実施しました。中高生たちは、東大宮教会学校の一員として被災地気仙沼の海岸清掃のボランティアという貴重な経験もさせていただきました。多くの皆様のお支えご協力により実現できましたことを心より感謝申し上げます。

## 光の子どもの家の夏休み

竹花信恵

創立以来の恒例チャレンジ行事です。それにもむけて夏休み開始とともにランニングなど張り切るので実際についていけなかつたのは大人たちのようでした。それでもそんな状況の中だからこそ普段はかくれがちなまづすぐな優しさをみせてくれた子どもたちの報告が重なったことはうれしい成績です。

大人になりつつある思春期たちにとってはますます刺激にさらされる季節でしょう。今日も「大人なんですか、子どもの話きいてくれないじやん」とぶいと横をむいていました。自分が子どもたちにとつてどんなに大切かを思います。大人になりつつある思春期たちにとつてはますます刺激にさらされる季節でしょう。今日も「大人なんですか、子どもの話きいてくれないじやん」とぶいと横をむいていました。自分が子どもたちにとつてどんなに大切かを思います。

大げさにいっては、思春期たちにとつてはますます刺激にさらされる季節でしょう。今日も「大人なんですか、子どもの話きいてくれないじやん」とぶいと横をむいていました。自分が子どもたちにとつてどんなに大切かを思います。

私はなにも、介護施設の処遇が劣悪で、そこに住まう老人は気の毒だと言っているのではない。少なくとも私のいる介護施設では、

試される時になります。そんな関係づくりの上台の手がかりをみつけるのもこの季節なのかも知れません。たさんのもつてているものに気づかず、あれもほしいこれもほしい、どうして自分ばかり、と一度不満の種をまくとあつという間に拡がっていく成長期です。それが、別の喜ばれ良い種ならなおさら豊かにしつかりと大地に根をはりながら成長していくにちがいありません。あれだけの悲しさも寂しさも乗り越えてきたすごさを自信にしていいのに。誰も真似ができるない歩みをしてきたことひとつをとつても尊敬できるひとりひとりなのです。充分反抗期を表現できることの大切さは、さまざまな事から学ばざるを得ない「家族に代わる」というこの家の向かい合わなければならぬ課題となつていています。稲穂もたわわに実る季節になつてありますように。いつも子どもたちの成長を共に見守つていただきお祈りくださいます。しかし、その方向だけは示すことのできる役割を果たすことができるよう心から願っています。

私はなにも、介護施設の処遇が劣悪で、そこに住まう老人は気の毒だと言っているのではない。少なくとも私のいる介護施設では、

されることはあまりにも多い。この施設に来て一番に驚いたことは、入所しているお年寄りの年齢が、私の感覚で言うと、極めて高齢であることである。少子高齢化の時代だからそれは当然のことだろうとおっしゃる方もいるかもしないが、多くの人たちが大正末期から昭和の初期に生まれた人たちで、九十歳台はざらで、百歳以上の人たちもまれではない。つまり、超高齢の方々が老健施設に集まっているという感じである。考えてみると、自宅で自立して生活できている老人や、子供たちが世話をできることができるようなら、老人は老人介護施設にはやつてこないわけで、ここに入所してきた老人たちは種々の事情でそれができなくなつた方々なのである。逆の方向から考えてみると、我が国の平均寿命を延長させているこれらの超高齢の方々の多くは、悠久の世話を送っているわけでも、家族に囲まれて楽しい余生を送っているわけでもないということになる。

老人介護施設にはやつてこないわけでも、ここに入所してきた老人たちは種々の事情でそれができなくなつた方々なのである。逆の方向から考えてみると、我が国の平均寿命を延長させているこれらの超高齢の方々の多くは、悠久の世話を送っているわけでも、家族に囲まれて楽しい余生を送っているわけでもないということがあります。考えてみると、自宅で自立して生活できている老人や、子供たちが世話をできることができるようなら、老人は老人介護施設にはやつてこないわけで、ここに入所してきた老人たちは種々の事情でそれができなくなつた方々なのである。逆の方向から考えてみると、我が国の平均寿命を延長させているこれらの超高齢の方々の多くは、悠久の世話を送っているわけでも、家族に囲まれて楽しい余生を送っているわけでもないということがあります。

今政府は、老人介護にかかる費用がウナギ登りであることから、その抑制のために、自宅や有料老人ホームなどでの介護を中心にしておられる。しかし、老健に入所している老人の家族背景などをなぞると、それがそんなに簡単ではないことが伺えます。またまた考慮込んでしまう。

当分この出口なしの問題に真摯に向かい合つていかなければなるま

## 構想と表現など

中島 瞳

絵を描き始めた人、初心者にとって、人物画はむずかしい、よく言われる。風景画や静物画だって、厳密に言えば人物画と変わらずむずかしいのだが、自然の中の木を描いたとする、枝が一本や二本曲がっていたとしても、或いは描かなかつたとしても、それが不自然でなければ絵になつてしまふ。しかし、人物を描く場合は、意図的に変形して描く場合は別として、鼻が曲がつたりしていたり、鼻の下が長すぎたりしたら、やはり奇妙な感じになつてしまふ。

「べただなあ」と、描いた人のウデの程度がバ

うことになろう。

人間の各部のづくりには、或る法則があるから、極端にこの法則から外れていると、誰が見ても変だなあ“となつてしまふ。だつたら、モデルさんにそつくりで、実際に正確に描いたら?これが必ず

ユキはこの春からA園という知的障害児通園施設に通い始めた。ここでは毎日長い時間、私から離れて大勢の園児達と集団生活を送ることになった。これまでは、あまりに手のかかるユキを他人に預ける気になど、とてもなれなかつた。A園は障害児ばかりの施設とは言え、果たしてユキが園生活に馴染めるのか、自信は全く持てなかつた。だがユキもいづれは親から離れて、社会に出てゆかなければならぬ。最初の登竜門は小学校就学、目前に迫っている。

## 「共育ちカソンガルー日記」

(19) 古巣

近藤みちる

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いてれば、学校に通うことを叶わないと。私と夫は、A園にユキを委ねてみる決心をした。

ところがそんな親の心配をよそに、ユキはあっけないほどすぐに園に慣れ、最初の一週間はいたく順調に過ぎていった。日々の連絡帳には「給食で全てのおかずを味見しました」「ひと口ごと

にご馳走さま!と言ひながらも、頑張つて食べました」など、偏食のユキが苦手な給食に一生懸命取り組んでいる様子が書かれていた。園でもユキの偏食克服のために、野菜を刻んだりペースト状にしたり、味を微調整したり、実に様々な工夫をしてくれた。

だがほつとしたのもつかの間、二週

日の朝、ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

らずとも、ユキなりの方法で社会のル

ールや人との関わり方を身につけなけ

れば、学校に通うことすら叶わないだ

ろう。私と夫は、A園にユキを委ねて

みる決心をした。

ユキは登園を渋り始めた。なんとかバス停まで連れて行き、泣いて

私にしがみつくのを先生に無理矢理引

き渡しての登園。翌日も翌々日も登園

渋りは続いた。連絡帳には「バスに乗

るなり泣きながら『きゅうしょくべ

けーションに重い障害があり、集団行

動が苦手である。だがたとえ障害は治

二代目ハムオちゃんが竹花家に来てから五ヶ月ほど経ちます。ハムオちゃんとは、高校生の清貴が飼っているゴールデンハムスター。オスだというので「ハムオ」と命名したのですが、どうやらメスだったらしく……けれども、呼び慣れてしまったのでみんなハムオと呼んでいます。

清貴は時にやさしく時に厳し



子どもたちの季節 竹花家

牧野由紀子

プラスもマイナスも引つくるめとにかく関わっていくこと、そしてマイナスよりもプラスが多くなるように心がけることが大切なだと改めて感じました。

思春期真っ直中の中高生などには「おはよう」「おかえり」を言つても「ふんっ!」という感じで、一見「なし」を好んでいるように思えるときさえありますが、考えてみればマイナスのストロークを求めているような自己表現をそれがたくさんしています。

それに勝るプラスのストロークをなんとか捻出し、無刺激ではない日常にしていきたいです。

小西剛史

く? ハムオちゃんのお世話をしています。ペットは飼い主に似るという話を良く聞きますが、ハムスターもまた然り。寝床から首だけぐいっと伸ばしてものぐさに水を飲んでいたり、寝ぼけてケージの中をウロウロしてしたり、えさをほお袋にしつかり詰め込んで夜中に脱走し、冷蔵庫の裏に別荘をつくろうとしていたり……とやんちゃです。

そんな様子を見て、ついつい担当者が「誰かさんにそつくり!」と言うと、清貴も「俺みたい?」とうれしそうな顔を見せます。やんちゃなところだけではなく、癪系の部分も清貴に似てるなあと思っています。

河のほとりで 倉澤家

奈美は中学二年生。多感な時期を迎え、対応に右往左往している毎日です。

一番困るのが、彼女の怒りのスイッチが入るタイミングが、いまだにわからないということ。急に怒り出し、ブンブン、プリプリし始め、「何、怒ってるの?」と尋ねると、「はあ?! 怒ってねえし!」「ほら、やつぱり怒ってる」「怒ってねえよ!」「怒つてないならもう少し優しく話してよ。」「はあ?! 何が?! うぜえ、だまれ!」と、こちらとしては訳のわからないまま、こんなやりとりになってしまふとの多い日常です。

怒りのスイッチが入りやすいことに加え、人とのコミュニケーションの苦手な彼女は、うまく自分の思いを相手に伝えることができず、そのことに自分自身でイララし、つい暴言を吐いてしまふのかもしれません。こんな彼女の暴言に心が痛むことも多かったのですが、ある出来事で彼女のかわいい一面を見つけることができ、彼女に少し近づけた気がしました。

倉澤智子

## 原田家日記

今年の夏休みもたくさんの方々のご協力で子どもたちにたくさん想い出を残すことができたことを感謝いたします。真っ黒に日焼けした子どもたちは、この夏で一段と成長したと感じます。

中学三年生の達貴は、野球部で昨年に引き続き県大会出場を目指して励んできました。背番号はレギュラーの証である一桁をもらい夏休みも「野球づけ」のはずでしたが、残念ながら地区予選で敗退してしまいました。その後は「受験勉強一筋」というわけにはいかず、部活を引退しても勉強三割、野球七割の「野球づけ」の日常をすごしております。本来なら「寸暇を惜しんで勉強しろ」と叱咤するところですが、生き生きとした表情で野球をしている達貴を見るといつつい頬が緩んでしまいます。野球部の強い高校に入学する目標を持ち、苦手な勉強ですが前向きに取り組み始めました。高校見学

で野球部の練習にも参加し、より一層気持ちを強く持ったようです。昨年の今頃の達貴を考えると中学校卒業後の具体的な目標が定まらず立ち止まっている状況でした。秋以降、学業の方ではなかなか成果をあげられませんでしたが、チームメイトにたくさん支えてもらいたい部活動での成果が出始め徐々に自信が出てきたように思えます。高校受験まであと七ヶ月、志望校で大好きな野球ができるように勉強に負けない強い心を持って望んでほしいと祈っています。

穴水祐介

## 光の中で

佐藤家

四月から新体制での生活が始まっています。ペットは飼い主に似るパートして早四ヶ月。子どもたちも新しい生活にだいぶ慣れてきましたようです。

私が担当している幼稚園生、真理も暑さに負けず毎日元気に遊んでいます。真理は一言で言うと頑固な女の子です。しかし同じグループの子どもが悪い事をした時な

なつてしまふ」と担当の方がおつしゃっていました。

新たな関係を築くために乳児院の方で関わりを継続することをためらってしまうなどの難しさもありますが、一度築いた関係を断ち切ってしまうことが本当に子どものためになるのだろうかという疑問が残ります。担当の先生には感謝と共に、是非このまま関係を継続していただきたいとお願いしました。

子どもに対してマイナスの働きかけをするくらいなら何もしない方が良いかも、と考えてしまうことがあります。そこには『人は無刺激(ストロークなし)の状況に耐えられない』とも書いてあります。マイナスでも無いよりはマシという感じでしょうか。

子どもたちと共に送る日常生活の中ではプラスの働きかけのみで過ごす事は当然不可能です。なので

先日ある新聞記事を読み、自身を振り返る機会を得ました。その内容は、

「人にに対する働きかけ(ストローク)には「プラス」と「マイナス」と「なし」があり、人が好むその順番は「プラス」「なし」「マイナスではなく、「プラス」「マイナス」「なし」の順である」というものでした。

子どもたちの季節 仙道家

岩瀬志穂

ど「あの子がわるいことしてごめんなさい」と、他の子の事で謝つたりもできる、心優しい女の子であります。また色々な事によく気が付き、ちょっと姑のような面も持っています。

乳児院から来た真理は、乳児院で沢山可愛がられ、その当時の担任で働いていたので、乳児院の方の思いも児童養護施設の方の思いも分かります。「乳児院を出了子どもの中で児童養護施設に行つた子どもの関わりはほとんどなく

なりもできる、心優しい女の子であります。また色々な事によく気が付き、ちょっと姑のような面も持っています。

先日ある新聞記事を読み、自身を振り返る機会を得ました。その内容は、

「人にに対する働きかけ(ストローク)には「プラス」と「マイナス」と「なし」があり、人が好むその順番は「プラス」「なし」「マイナス」ではなく、「プラス」「マイナス」「なし」の順である」というものでした。

子どもに対してもマイナスの働きかけをするくらいなら何もしない方が良いかも、と考えてしまうことがあります。そこには『人は無刺激(ストロークなし)の状況に耐えられない』とも書いてあります。マイナスでも無いよりはマシという感じでしようか。

子どもたちと共に送る日常生活の中ではプラスの働きかけのみで過ごす事は当然不可能です。なので

## 養育論の試み その6

隣る人4

菅原 哲男

ひかりのこ ..... No.154

光の子どもの家では責任担当制による家庭的養育を目指している。

一人の担当職員が五名以下の子どもを担当する。担当を持たない者は、担当者がよく担当者になるためにサポートする。担当を持たない者は施設長はもちろん事務職員と間接のそれとの境目は判別できないほど、互いに重なり合うはつきりである。父性的な女子職員や母性的な男子職員等々雑多である。合理的だつたり、計画的なたらきよりは、様々な人の雑多なたらきが暮らしの豊かさをもたらすと考えてきた。

しかし、担当者と非担当者にはかなり歴然とした違いがあるようである。一般的家庭で、父性と母性の両性具有ののような八面六臂のはたらきをしている女性と、居場所の狭い、きまり悪そうな感じの男性が暮らしの中にあるように。施設でも似たようなはたらき方がある。

それはそれで仕方がないのかもしないが、担当者にはたらきが偏りすぎるとバランスを崩すので、

正副施設長、主任などといわれる人々のはたらきが問われるのだ。

卒園生の春夏が男の子を生んだと、本人から知らせがその日のうちにあった。めでたい話である。

めでたいが、これからが大変である。もちろん子どもを産んだ途端に母親になるというだけの大変ではないらしい。

映画「隣る人」が八月十八日からボレボレ東中野でアンコール上映されている。最初の上映の間トクショードが相当数あつた。その中で刮目させられた登壇者が何人かいた。その中の一人、before bonitaの代表者吉岡マコ氏の話にはまさに目からウロコが落ちる思いだつた。

多くの人は女の人妊娠し、出産するまではとても大事にするが、産んでしまえば後は何とかなるだろう的な扱いがほとんどだろう。

思春期前期の生理の開始から、結婚・妊娠後の約十ヶ月、その間、つわりなどの身体的な激変と不安等々、当事者でなければ理解できない女性の困難があることは知っていた。産後の肥立ちなどという言葉も知っていたが、産褥期の問題は不明なことであった。

光の子どもの家は、女の人が産んでくれた子どもたちを育てることがはたらきである。はたらきの違いがある。女のはたらき人は面倒なことから逃げない。忍耐強く関わりを継続している。男も関わるが、わたしを含めてどこかいい加減である。女の人は、自分のおなかの中で子どものいのちを発生させ、育てるのである。胎内にいるときも出産した後も自分の分身としての意識が無意識も含めてあるのだろう。それは、出産の経験

の有無には余り関わりがないようである。だから身体的な特性は否定できないと思われる。子育ては女性に任せておけばいいのではなく、子育てには両性が責任を持つべきである。その一つは、男性などが母子関係の形成に力を貸すことだろうと思う。母子の暮らしに隣つて伴走するのである。

一方、父親の育児参加のかけ声のあと、イクメンなどという言い方に感じる作り事の臭いは好きでない。制度や労働になる子育ての悩みにあるうさんくささである。

春夏は、初子として生まれた。

父と母の結婚を喜ばない両家の娘から、子育てどころではない事情の元に生まれたのである。母の病もあって、親戚に預けられたあと、小さな体でやつてきた。しかし幼稚園から小中、高校までたいた事故もなくきれいな娘に成長した。美しさがいや増した頃父が亡くなつた。高校生の弟秋冬と亡くなる前の父を東北の小村で見舞い、亡くなつたその町で執行した葬儀の喪主を春夏が務めた。それから数年後の結婚式の花嫁の父を請われてさせてもらつた。そして、この度のおめでたである心を込めて祝いたい。

現場から

## 光の子らしく

岩崎まり子

毎日暑い日が続いていますが、皆様、お元気ですか。

最近、光の子どもの家を舞台にしたドキュメンタリー映画「隣る人」公開の影響もあって、懐かしい方々から連絡をいたたく機会に恵まれ、しみじみとした思いに浸っています。

その内のお方は、湯河原でお世話をなつた府川さんご夫婦でした。お声を聞いた途端、皆さんのが浮かび、少し早口で面白いことをおっしゃつて皆を笑わせて下さった食事場面など思い出しました。

府川さんのお宅へは萌季も嬉も

小さい頃お邪魔しましたし、理奈の一番最初のお泊まりしたお宅でした。あのときは、理奈は行つてすぐ熱を出してしまい、嘔吐もあつたためあちらで病院に行き、次日にグリーン車で私たちだけ帰つてきました。すこしだけ具合が良くなつて食欲が出て來たよ

うで、車内で隣り合つた家族連れがお弁当を広げ始めたとき、まだしゃべれなかつた理奈が、一生懸命に両手を差し出し「頂戴」をやつていたのを覚えていました。

今年初めに亡くなつた嬉が小さかつた頃、一回だけ真鶴まで出掛けたことがあります。生き物大好きな嬉は休息も忘れて磯でカニついています。

その内のお方は、湯河原でお世話をなつた府川さんご夫婦でした。お声を聞いた途端、皆さんのが浮かび、少し早口で面白いことをおっしゃつて皆を笑わせて下さった食事場面など思い出しました。

府川さんのお宅へは萌季も嬉も

や小魚を捕まえて遊ぶのに夢中で、背中だけが真っ赤に日焼けするという、大変な恰好になつてしまつたのも楽しい思い出です。

赤ちゃんのようだつたあの子が夜泣きをして、夜の湯河原を菅原や倉澤が替わる替わる抱っこして歩いていたことも、バーベキューをごちそうになりながら皆さんの武勇伝を伺つたことも、どれもみんな得難い体験でしたし、今も私たちの心の中に「あの頃」「あの時」の共通の思い出として残つています。

本当に長い年月、多くの方々に支えられてきました。

萌季は賢い子どもでした。入所を頂きました。

萌季は賢い子どもでした。入所

した頃は二歳六ヶ月でしたが、ペラペラとよくしゃべり、入所理由こそ何も触れませんでしたが、自身の家族構成などきちんと理解していました。入所時、母親に振り払われるよう置いていかれ、たつた一人でどんなにか心細かったかと思います。全く家族関係のなかつた萌季でしたが、急に居なくなつた彼女を心配して、当時二十歳ほどのこの方が正義感にかられてここを探しててくださいたのが関係作りの始まりでした。

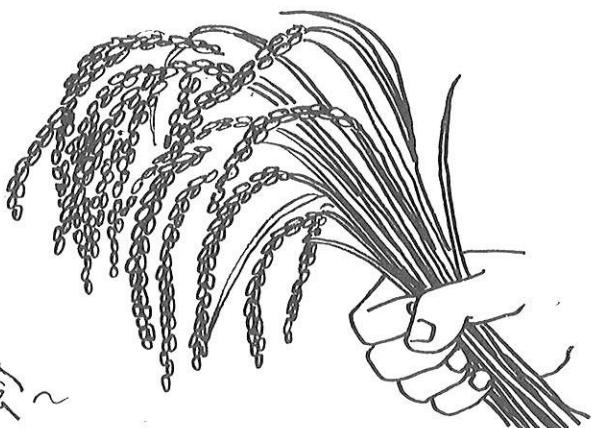


残暑厳しき折、どうぞご自愛下さい。

萌季の親族の方からは、メールが口癖の思春期真っ只中の丘実もやがて大人になつたとき、「あの頃」や、「あの時」を共有できる人々の輪に加わっていられるよう願います。そのため、ややもすると手の届かない世界に行つてしまいそうな彼女の手を引き戻し続ける毎日です。

来年度も光の子どもの家では  
基準外賃預確保のための  
バザーを行う予定です。  
バーザー物品のご協力を  
よろしくお願ひいたします。

～光の子どもの家バーザ実行委員会～



日誌抄 = 子どもと創る暮らしの風景 =

2012年4月～5月

2012年4月現在

- 幼児3名 小学生15名 中学生8名 高校生7名 計33名  
 1日 4年間に及ぶ光の子どもの家のボランティアを経て大学を卒業した工藤久枝が大きな決意を持って保育士として着任 ボランティア時代はガンコちゃんの愛称で子どもたちからとても慕われていた  
 4日 3月に卒園した浩伸の自衛隊着隊記念式 穴水指導員出席  
 5日 進級進学お祝い会 真新しい制服に身を包んだ新中学生と新高校生 新たな学校生活への希望が高まる  
 8日 イースター礼拝 愛餐会  
 9日 小中高校入学式始業式 新入生は緊張の面持ち  
 13日 山ノ下恭二牧師による夕礼拝 礼拝奉仕感謝  
 25日 若月健悟牧師による職員礼拝 礼拝奉仕感謝  
 27日 日頃からたくさんのお野菜をお送りくださる古河農友会の総会へ菅原理事長と鈴木指導員が出席 感謝と共に光の子どもの家の近況をお伝えする 力強い応援に心から感謝
- 5月  
 4日 光の子どもの家子どもまつり 子どもたちの友達が多数遊びに来て賑やかな一日となった 感謝  
 6日 西武ドームにてプロ野球観戦 感謝  
 8日 中学校との連絡会 新たに中学生となった子どもの様子や受験生となった中学三年生の進路のことなど

話は尽きず 貴重なご意見心より感謝

- 9日 赤十字奉仕団による除草作業と光の子どもの家後援会によるそば会 心から感謝  
 11日 山ノ下恭二牧師による夕礼拝 礼拝奉仕感謝  
 19日 Jリーグ試合観戦 感謝  
 25日 若月健悟牧師による職員礼拝 礼拝奉仕感謝  
 26日 第98回光の子どもの家理事会  
 <4月5月の物品ご寄贈者>  
 小山田貴子 新井房子 古川景子 畑上育恵 吉野久美子  
 伊村幸子 中島睦雄 島野常一 椿晋・幸子 渋井みさ子  
 中山クリスチ教会 上山敦子 坂井田真実子 真中歯科医院  
 茂呂加代子 金久保公男 片山和恵 飯島俊輔 杉山和俊  
 田中和子 福島明美 小松原美砂子 鳥越宏子 宮原茂悦  
 金子光代 木村正広 神田政枝 大塚東一 柿沼正男  
 斎藤直子 中條則江 大淵ヤス子 豊国道江 木村優作  
 宮崎晴子 松本静江 新井摸子 長田美紗子 白田紀雄  
 川浪恵美 大野真理子 上村直子 芹沢美保 竹内阿久利  
 白石和子 市川光一 堀川千恵子 松本明子  
 小池房世 和泉みどり 横村茂子 横村スミ子 大友孝子  
 斎藤良子 島崎なぎさ 山畠真理 宇田川晴義 東大宮教会  
 セカンドハーベストジャパン 渡辺純子 市川敬治 小林幸子  
 木村友枝 他多数の各位様  
 ☆光の子どもの家の職員確保のためのバーザへの沢山のご支援ありがとうございました。心から感謝申し上げます(洋)



☆暑さも朝夕は少し和らいできました☆この夏も子どもたちは豊かな経験の中で一回り大きく成長したように思います☆多くの方々のご協力やご支援に心より感謝しております☆お盆には多くの卒園生たちが光の子どもたちに帰ってきてそれぞれに元気な姿を見せてくれました☆今年四月から自衛隊訓練生として頑張っている浩伸は希望通り航空自衛隊の訓練生として選抜され胸を張って帰つてきました☆関西から新幹線で帰つててくれた浩伸の手には子どもたちまた職員たちと手土産が☆光の子どもの家から社会に出て立派に成長している姿を見て嬉しく思いました☆高校卒業と同時に住む場所を含めて進路を決めなければならぬ子どもたちの不安はいかばかりかと思います☆決めてもなお不安は消えませんが決めたのちの多くの子どもたちが急に前をしつかりと向いて進み始めます☆彼らが自立してそれぞれの日々を送る中で迷つたり立ち止まつたりした時に帰つて来れる場所であり続けたいと心から願います☆

(洋)